学校支援ボランティアで 学校が変わる！地域が変わる！

学校支援ボランティアを募集しています

学校支援ボランティアは地域につくられた地域住民による学校の応援団です

目的

地域の多くの大人が子どもたちの教育活動に関わり、子どもたちの規範意識やコミュニケーション能力の向上と地域のつながりをより一層深め、地域の教育力の向上を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、学校のニーズに応じた支援活動を行うことを目的としています。

活動内容

平成24年度の活動実績より紹介します。

①学習支援活動
読み聞かせ、ミシン掛け補助、電動のこぎり補助、スポーツ教室、農業体験、ふるさと探訪、太鼓指導、書道指導、美術指導など

②環境整備活動
花づくり、水道水源地の管理、蔵書整理、防護ネット張り、庭木の剪定、除草作業、図書の貸出など

③登下校安全活動
交通安全立哨、子ども見守り隊、バスターミナル安全パトロール、スクールガード

④学校行事
伝統文化体験、運動会参加、三世代交流会、ふれあい教室、餅つき大会、遠足の引率、防災キャンプ参加、農業体験など

⑤部活動支援ほか
柔道指導、昔の遊び体験、古紙回収、ふれあいグランドゴルフ大会など

◆各中学校区には、学校とボランティアをつなぐコーディネーターがいます。学校からの要望を把握し、ボランティアへの要請を行う役割をしています。

学習支援の風景

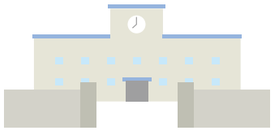
▲家庭科ミシン掛けの補助

▲読み聞かせ

【 各地区の経過 】

中学校区名	開始年度	対象の学校	ボランティアの人数
西祖谷中学校区	平成 22 年度	西祖谷中学校区の小・中学校	61 人
三野中学校区	平成 23 年度	三野中学校区の小・中学校	72 人
井川中学校区	平成 23 年度	井川中学校区の小・中学校	156 人
池田中学校区	平成 24 年度	池田中学校区の小・中学校	51 人
東祖谷小・中学校区	平成 24 年度	東祖谷小・中学校	59 人
山城中学校区	平成 25 年度（予定）	山城中学校区の小・中学校	平成 25 年度に募集予定

お問い合わせ先
学校支援ボランティア事務局
（三好市教育委員会生涯学習課）
電話 72-3900・ファックス 72-3916



申込方法

学校、公民館、教育委員会（生涯学習課）で登録用紙を配布しています。

必要事項をご記入いただき、学校または生涯学習課に直接、またはファックスでご提出ください。

活動を通してのみなさまの声

◎学習支援や環境整備などのボランティア活動を展開する中で、子どもの地域に対する理解や関心が高まった。

◎学校にとっては、地域の方々にサポートを得ることで、学習指導や児童生徒指導の時間が十分確保できるようになった。

◎地域の方にとっては、これまで学んできた知識や経験を活かす場が広がり、大変充実している。

◎子どもの表情が変わったり、感謝されることでボランティアとしての活動の励みとなり、児童・生徒との活動を楽しみにしている。

学校支援ボランティアの様子

▲環境整備（防護ネット張り）

▲学習支援（総合学習：生け花教室）

▲学習支援（図工科：電動のこぎり補助）

▲学校行事（昔の遊び指導）

▲環境整備（校庭の除草）

▲学校行事（茶道教室）

▲登下校安全活動

▲部活動指導（柔道）

出会い★ときめき 三好のこの人 vol.5

このコーナーでは「文化でまちを元気にしよう」と活躍されている人を紹介していきます。
三好市文化交流推進課（☎72-7633）

今月の三好のこの人

山城大歩危妖怪村
村議会議員

下岡（しもおか） 昭一（しょういち） さん

（池田町川崎・77歳）

故郷を何とかしなければ

「過疎で町が消えかかっている」「ここには、人も物も働く所も何ちゃない」15年ほど前のことでした。生まれ育った故郷山城町から聞こえ始めたこんな寂しい声。人々の故郷に対する誇りが失われつつあった。「これは大変なことだ、都会では味わえない故郷の魅力を発見し皆に伝えなければ」と思ったんです。

〝何もない〟は素晴らしい

静岡から帰郷した私は、山郷を隅々まで歩き回りそこに伝わる言い伝えや習わし、歴史などあらゆる情報を集めました。そしたら、思いのほか皆元気でやる気があり、大工に農業に林業に…何でもできる人がいて、おもてなしも上手で人情いっぱい。厳しくも美しく豊かな自然とうまい食べ物。何ちゃないどころか、何でもあった。妖怪伝説もそのひとつだったんです。

▲2008年、後世に遺したい妖怪文化の普及・貢献した地域として世界妖怪協会（会長水木しげる）から〝怪遺産〟に認定。

故郷の伝説 掘り起こし 新しい「妖怪文化」を全国へ発信
原点は故郷の魅力を発見すること

妖怪話は生活に必要な文化だった

山城町には150か所以上の地域に、狸、天狗、へび、えんこ（河童）など60種類以上の妖怪伝説があります。近寄ってはいけないところ、夜外へ出たら危険なところなど、平地がほとんどなく厳しい自然環境の中だからこそ生まれた言い伝えで、それによって事件や事故への警戒心を高めていたのでしょう。

地域ぐるみで妖怪づくり

保育園児から90歳代のお年寄りまで、地域の皆でわいわい盛り上がりながら妖怪の着ぐるみをつくりました。できた60数体の妖怪は、妖怪まつりや阿波踊り、観光イベントなどいろんな場面に登場させています。また、妖怪ウォーキングコースには木彫りの妖怪モニュメントもつくりました。本当は怖い妖怪でも、地域の皆が力を合わせてつくったものだから、何だか温かくて楽しいんだ。まさに住民パワー。

妖怪像は自由に想像して

大勢の人にわかりやすくするために、好きな絵と文で冊子や紙芝居、マップを作りました。でも、本当はおじいちゃんやおばあちゃんから話を聞いて自由に想像するのがいいんだけどね。

▲下岡さんが作成した冊子やマップは、道の駅大歩危などでお買い求めいただけます。

故郷のいいところはまだまだいっぱい

近日中に妖怪村村議会を開いて、これからの取り組みを皆で議論します。妖怪めぐりコースの整備、村人による案内人育成、妖怪屋敷の新たな展開など、まだまだやることはいっぱい。

妖怪文化発展活動のほかにも、天然記念物になりうる巨木の調査、重さが2トンもあるのに簡単に動かせる「ゆるぎ石」など不思議なパワースポットの発見…まだ世に出ていない故郷の魅力をどんどん見つけて発信していきたい。これはいいと思ってくれたら、また新たな展開が生まれてくるはずです。

※「出会い☆ときめき三好のこの人」はケーブルテレビでもタイアップ放送しています。ぜひご覧ください。

新たな学びやの完成を祝う

東祖谷小・中学校並びに東祖谷保育所の竣工式が2月3日、東祖谷小・中学校体育館で開かれ、児童生徒、市や工事関係者などが出席し、新たな学びやの完成を祝いました。

オープニングセレモニーでは東祖谷小学校4～6年生の児童による祖谷衆太鼓「学びや太鼓」の披露があり、校舎完成のうれしさを力いっぱいの演奏で伝えました。式典では、俵市長の式辞、工事に携わった方への感謝状の贈呈のほか、東祖谷小・中学校の児童生徒代表の2人が「新しい校舎で伝統や人との絆を作っていきたい」とお礼を述べました。

南海地震を想定し 図上訓練

2月13日、三好市中央公民館で、市職員を対象とした防災訓練が実施され、市長をはじめ職員約60名が参加しました。今回の訓練は、「状況予測型図上訓練」と呼ばれるもので、土曜日午前6時に震度6強の地震が発生したとの想定で始まり、時間区分ごとに24時間後までの状況を予測し、個人、所属部署、所属班の対応を発表・検証しました。

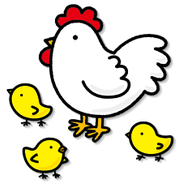
今後、南海地震では三好市でも最大震度7の揺れが想定されており、災害発生時に職員も被災する中、様々な災害に対応できるよう定期的な訓練とマニュアル整備を図っていきます。

愛玩鳥を飼っている皆様へ

「ゼロのつく日は消毒日」です。
鳥インフルエンザ発生防止のため、鳥小屋の清掃と消毒は、毎月3回（10日、20日、30日）以上おこないましょう。

農業振興課または各総合支所にて、消毒薬を無償で配布します。ペットの鶏、チャボ、烏骨鶏などを飼育している方（1戸につき1本）消毒薬が必要な方は、農業振興課までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉
三好市 農業振興課
（電話72-7617）



高規格救急自動車が寄贈されました

このたび、一般社団法人日本損害保険協会から、みよし広域連合消防本部に高規格救急自動車が寄贈され、2月7日に東みよし町の同消防本部・東消防署で受納式が行われました。寄贈された高規格救急自動車は、従来型に比べ、広い車内空間や高度な救急救命処置を十分に行える設備を備えており、3月1日より東祖谷の西消防署祖谷分署で運用しています。この寄贈により応急処置の拡大を図り、より充実した住民サービスの提供を実現します。

お問い合わせ先
みよし広域連合消防本部（☎76-5119）